

第3報

平成24年6月22日

大隅河川国道事務所

記者発表資料 国道220号法面崩壊について 17時40分発表

平成24年6月22日10時45分頃、垂水市牛根境付近（国道220号178k 000ポスト付近）にて、法面崩壊が発生しました。

また、同日13時40分頃にも、新たな崩壊が発生したことが確認されております。

本日、13時20分頃より、九州地方整備局の防災ドクターである、鹿児島大学大学院准教授の井村隆介先生に、崩壊現場を視察頂きました。

現場は未だ昨日の大雨の影響と思われる出水等が見受けられ、応急復旧に着手できない状況です。

そのため、本日の応急復旧の着手は見送り、今後の崩壊現場の状況、気象状況を見極めた上で、応急復旧に着手する予定です。

そのため、今後しばらく、当該地区の国道220号線は、全面通行止めといたします。迂回路は別添の通りです。

道路利用者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

記者発表に関する問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所
鹿児島県肝属郡肝付新富1013-1
電話（0994）65-2541

事務副所長	かわぞえ 川添	まさずみ 正純（内線202）
調査第三課長	ぬまた 沼田	ひであき 英昭（内線451）

迂回路図

迂回路
一般国道10号

国分敷根交差点

通行止め区間

被災箇所

牧之原交差点

迁回路
国道504号

市役所前

迂回路
県道71号





